



こころざしをカタチにする。

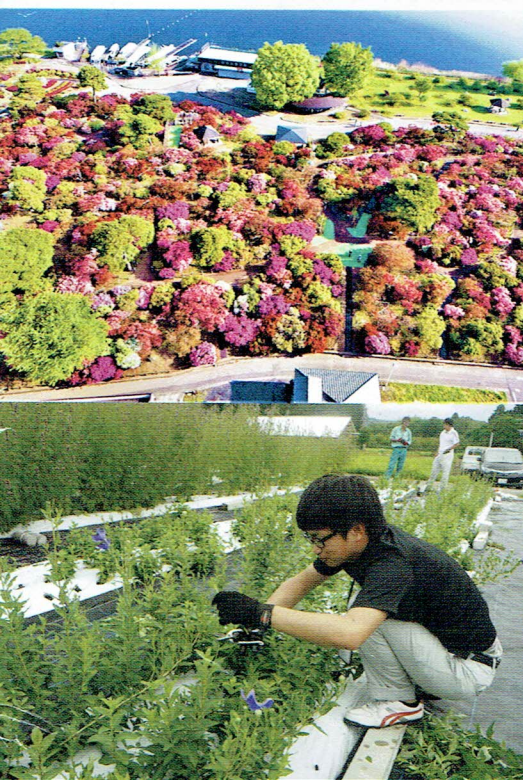
企業版 ふるさと納税

活用事例集

==== 全国の特徴的な取組 =====

令和3年3月

内閣府地方創生推進事務局



29

静岡県
富士宮市

企業版ふるさと納税活用事例

▼コンビニと連携したベビーステーションの普及と母力応援プロジェクト

子育て世代に
やさしいまちづくり

— 地域社会が一体となって子育てをサポート —

事業分野	子育て
事業期間	2017年4月～2019年3月
総事業費	12,196千円
寄附額	4,000千円
寄附件数	3件
寄附企業名	アサヒ飲料株式会社、株式会社アリエ
■ (SDGs) 関連するゴール	
3 すべての人に健康と福祉を	11 住み続けられるまちづくりを
17 パートナシップで目標を達成しよう	



母親向けの講座を通して育児のコツや子育てのヒントを共有

寄附活用事業の
概要NPOとコラボし、
地域社会全体で子育てできる環境を目指す

富士宮市の人口は2010年にピークを迎えた後、減少し始め、人口減少に歯止めをかけるためにも、子育てのしやすい環境の整備が課題となっていました。本事業はNPO法人「母力向上委員会」との協働によるもので、妊娠出産子育てシェアサポート事業の実施やベビーステーションの普及を通して、地域社会全体で子育て世代を応援するまちづくりを目指すものです。具体的には、**育児支援講座**や**子育て世代の居場所づくり**を行うほか、**粉ミルクのお湯の提供**や**紙おむつの販売を行うコンビニ等のベビーステーション認定**などを行っています。認定店舗の職員向けに**子育て理解体験講習会**を開催し、子ども連れの方の気持ちに寄り添う接客をお願いしています。こうした取組から、**地域社会で子育てをするという意識を、地域社会全体に醸成し、子育てのしやすいまちづくり**を目指します。

寄附活用事業の
成果市内のコンビニの約9割が
ベビーステーションに認定登録

1. 紙おむつの販売や、ミルクのお湯提供を案内するコンビニが増加
2. コンビニと連携した子育ての外出支援事業が他自治体にも拡大
アサヒ飲料の首掛けPOPとのコラボや、
3. NPO活動への寄附付きラッピング自販機を設置し、
ベビーステーションをPR
4. コンビニ商品に子育て目線の
オリジナルPOPを設置し、新たな商品ニーズを発掘



乳幼児連れでも使いやすいように、ベビーステーション店舗の商品にオリジナルPOPを設置する取組を拡大

地方公共団体 寄附受入れの経緯・工夫

市内に設置した企業版ふるさと納税プロジェクトチームが、寄附依頼を行う候補企業等の情報を市内各部署と共有。寄附募集の際には、女性の活躍や子育て支援など、企業が進めている取組に合致した事業を提示し、企業のイメージアップにつながることをアピールしました。アサヒ飲料株式会社においては、本プロジェクトとのコラボ事業や量販店でのPRイベントの開催のほか、新商品の意見交換などを行っており、企業と子育て世代が連携して地域の活性化に寄与する取組を進めています。

寄附企業 寄附の経緯・効果

工場が富士宮市内にあることに加え、本事業内容が当社の事業領域に通ずる内容であったことから、寄附を決定。寄附を契機として、行政とNPOを交えた3者による定期ミーティングを行うようになり、**当社の意見が本事業に反映されることになった点や、本事業について県内の認知が広がり、当社が地域密着で活動していることをPRできている点**などで寄附の成果を感じています。